



めざせ! 南十字星

笑顔があふれ、しあわせを感じられる学校

学校 便り

令和5年10月国際交流特集号

ヨハネスブルグ日本人学校

ラッドフォード・ハウススクールとの国際交流を行いました!



年間6回の計画で進めてきている国際交流ですが、10月10日に4回目を実施しました。今回は、ラッドフォード・ハウススクールの子供たちとの交流です。

子どもたちは、同じ学年の子とペアを組み、挨拶をした後、隣同士で座りました。早速始まったオープニングセレモニーでは、温かな雰囲気の中、南アフリカのナショナルアンセムを披露してくれました。日本人学校の子供たちは、代表の挨拶の後、「さんぽ」を日本語と英語で披露しました。

続けて、音楽担当の先生から、南アの国歌は、アパルトヘイトが終わった後に、2つを併せて1つの曲として編曲されたこと、5つの公用語で歌われていることなどの説明がありました。

また、美術担当の先生より、ンデベレアート芸術家の Esther Mahlangu の作品について、詳しく説明がありました。

鶏の羽を使って、多彩な色を駆使して描かれるウォールアートはとても色鮮やかできれいでした。



(右2枚の写真: VMEA About Contact Jobs Blog Facility Rental Membership Donate Press より引用)



その後、ペアで、ビーズアート作りを行いました。思い思いの色のビーズを使って、世界で一つだけのプレスレットが出来上がりました。

次の授業は、理科担当の先生によるイースト菌を使った実験でした。イースト菌の割合によってふくらみ方が違うことを説明しながら目の前でその違いを見せてくれました。

さらに、発展の学習もありました。イースト菌で膨らんだパン生地を長い棒に巻き

付けて、パンを焼きました。赤く燃える炭の上で、パン生地に熱が伝わると、大きくふくらんだパンが完成です。思い思いにジャムやシロップを付け、熱々の焼きたてパンを皆でおいしく頂きました。

クロージングセレモニーでは、ヨハネスソーランを披露することになっていましたが、なんと舞台上で思い切り踊ることができました。盛大な拍手と共に、国際交流はお互いに大きな成果を得て終了となりました。



年に一度の交流の機会は終わりましたが、今後も両校の国際交流が続くことを期待して、サプライズの出来事がありました。それは、交流担当の先生が、日本のポストに似せたボックスを作成して下さいました。この2つのポストは、それぞれ各校に置かれ、定期的に今回のペアで、ペンフレンドとして交流を続けていこうという提案です。



今後、どのようなやり取りがなされるか楽しみであり、ペンフレンド同士の交流が続いてくことを願ってやみません。